

ホーユー SOMARCA Lab. × 中日美容専門学校 presents

ヘアデザイン展

2025

前期図録



1

2025

12.20 SAT

▶ 2026

2.1 SUN

本展は、中日美容専門学校で行われたヘアデザインコンテストの受賞作品を展示した企画展です。

より多くの方に作品をご覧いただけるよう企画致しました。

今年のヘアデザインコンテストは、2年生の部と1年生の部に分けて実施され、2年生の部はヘアカラーリストコース在籍の66名がエントリー、1年生の部は美容科の650名がそれぞれクリエイティブ部門とサロンワーク部門に分かれエントリーし、想像力と技術を競いました。

カラー剤にはホーユー株式会社のサロンカラーブランド「SOMARCA Lab. (ソマルカラボ.)」が使用されました。

本展では、コンテスト優秀作品計21作品を2回に分けて展示しています。

学生の皆さんの自由な発想と多様な表現を発表する場を一緒に作り上げることで、ホーユーヘアカラーミュージアムは、未来の美容業界を支える若い世代を応援したいと思っております。

次世代が織りなす彩り豊かな作品を通じて、ヘアカラーリングの可能性を感じていただければ幸いです。

SOMARCA Lab.

まるでラボで実験するように、常識にとらわれない組み合わせや使い方を叶えるサロンカラーブランド「SOMARCA Lab. (ソマルカラボ.)」



自由に組み合わせ、思い通りの色表現を究める。

次回のサロンカラーにも配慮した処方※で褪色までキレイな色味を維持します

※褪色や脱染時を考慮して厳選した直接染料のみを使用した処方設計

前期展示作品

2年生部門

- 1位 「今日もどこかで、」 光島 新太郎/伊藤 羽優
- 2位 「毛ヱーキ」 木全 美羽/伊藤 詩麻
- 3位 「AIと人間の対比」 松井 愛夢/吉田 詩麻
- 4位 「クラゲ×夜空」 原 夏輝/森 紀夏
- 5位 「ただ、咲いていた」 佐藤 侑哉/竹川 脩生

1年生 クリエイティブ部門

- 1位 「揺れと彩りが重なるニュアンスデザイン」
片方 優希

1年生 サロンワーク部門

- 1位 「海の幻想と柔らかな甘さ」 桐原 夕結
- 2位 「キャンディ・パープル」 天野 絵梨
- 3位 「遊び心とスタイリッシュの融合」 黒田 紗希奈
- 4位 「夢色のウルフ」 石井 紗葉
- 5位 「本能美」 丹羽 我空
- 6位 「キャンディーカラーのときめき」 鈴木 龍信
- 7位 「ネオンが揺れるレイヤーグラデ」 杉山 桃渚
- 8位 「素肌感とカラーが奏でるニュアンス美」
早川 凜世歩

クリエイティブ部門2位～8位は後期（2026年2月3日～3月29日）の展示となります

『今日もどこかで、』

前後期展示作品

2年生部門
1位



作者

光島 新太郎
伊藤 羽優



製作意図

案を考えている時ふと「みんなも悩んで、自分も悩んで」と思いそこから考えを発展させた所、「この空間に居ないどこかでも誰か何かしらで悩んでいる」と思いました。そう考えていくと自分が生きているこの、「今」という世界に、どこかでいつもの日常が行われている思いました。

この作品では自然に鳥が1羽果実を求めて飛んでいる様子を表しています。自然のどこかでも人ではない生き物もいつも通りの生活をしている。と少し視野を変えて見た結果、そのような考えが出てきたのが今回の制作意図に当たります。

苦労した点

ヘアでのショートと枝を表現した髪のバランス感を測ったところでした。枝の本数や曲げ方、正面からの見せ方次第ではアンバランスに見えたり、緊張感を感じさせてしまう為、動きのあるフェザーショートに対し、ナチュラルに動く木の枝のバランスを丁寧にしながら制作しました。

あなたにとってヘアカラーとは？

ヘアカラーというのはその人にしか分からない、その人にしか完璧に理解できない、独自の世界観や好みをも唯一、ヘアというキャンパスに描くことだと思っています。例えばですが、オレンジにしたいという理由が好きだとした場合、その好きはどこから来たものなのかを探り、それに見合うカラーを提供していくことです。その人のもつ「好き」はその人のものだと思っています。ヘアカラーは場合によっては一生残るものも出てくるため、好きや世界観の認識のズレはカラーへの追求心が欠けているものだと感じています。学べば学ぶほど深くなるととても楽しい分野だと私は思います。

使用色



ブリリアントイエロー



ミントグリーン



ジェリーメディウム

hoyu コンテスト デッサン画

クラス 15

名前 伊藤 羽優
光島 新太郎

使用薬剤 (ソマルカラボ)

グリーニアイロー

ネオンライム	g	スウィートミルクティー	g
ローズレッド	g	アネモネ10-7010	g

ミアン

ミントグリーン

対比	(20% : 1) :	5	
薬剤	ローズレッド +	スウィートミルクティー +	グリー
g数	1 g +	5 g +	30 g

ミントグリーン
+ アネモネ10-7010
+ グリー
5g + 0.5g
+ 30g

対比	11 :	1 :	5
薬剤	ローズレッド +	アネモネ10-7010 +	グリー
g数	5 g +	5 g +	50 g

同じ今を
生きているのだよ

ネオンライム + グリー + アネモネ10-7010 + グリー
2g + 10g + 60g

時間は共通
であり 平等

10
16.5.4

ヘアスタイル・カラー・メイクまで決める

今日もどこかで鳥が飛んでいる。



『毛エーキ』

2年生部門
2位



作者
木全 美羽
伊藤 詩麻



製作意図

美容学生としての毛に対する情熱とスイーツ好きとしての甘い執着が奇跡の融合を果たしました。
今回のケーキ

ふわふわのスポンジじゃなくてふわっふわのウィッグ
シロップの代わりに整髪スプレーでツヤ感アップ
中には驚きの空洞!! まさに人生と一緒に
ウィッグのカールは補習で培ったワインディング技術を活かして作ってみました
みなさんも頭にケーキを心にトリートメントを!!!

苦労した点

トーンコントロールや補色の使い方を試行錯誤しながら、狙った色味を再現する技術力と観察力を磨くこと

あなたにとってヘアカラーとは?

ヘアカラーは、髪を染めるだけでなく“個性や気持ちを表現できる手段”だと思います。
色によって印象や雰囲気を変えられるため、ファッションやメイクと同じように、その人らしさを引き出せる無限の可能性を感じます。
カラートリートメントはその中でも、ダメージを抑えながら自由に色を楽しめる点が魅力で、これからもっと多くの人が気軽にヘアカラーを楽しめる時代になると思います。



シアン



ミントグリーン



アネモネパープル



ジェリーメEDIUM

hoyu コンテスト デッサン画

14 クラス

名前 木倉 美羽
伊藤 詩麻

使用薬剤 (ソマルカラボ)

キャンディピンク	g	ロイヤルブルー	g
ミントグリーン	g	ブリリアントイエロー	g

アネモネパープル

対比	1	:	50	:	
薬剤	カラー	+	クリス	+	
g数	g	+	g	+	g

対比	:	:			
薬剤	+	+			
g数	g	+	g	+	g

美容院でもなく、
ケーキ屋でもない。
ここは、新世界の入口です。

毛エキ。

生日快乐



713 = P3
50 = 1. 512
4
4
ロイヤルブルー - 300g = 6g
306g

HAPPY BIRTHDAY

ヘアスタイル・カラー・メイクまで決める

『AIと人間の対比』

2年生部門
3位

作者
松井 愛夢
吉田 詩麻



製作意図

この作品は、「AIと人間の対比」をテーマに制作しました。右側は人間の温かさや感情を表現し、左側はアルミホイルやアンテナなどを使って無機質で機械的なAIをイメージしています。現代はAIが進化し、便利で効率的な社会になっていますが、その分、人間らしさや感性が薄れていくこともあると感じました。だからこそ、この作品では“人間にしかない温もりや心”を改めて伝えたいと思いました。AIに頼る時代でも、自分の感性や想いを大切にしていくことが大事だというメッセージを込めています。

苦労した点

この作品では「AIと人間の対比」を一目で伝えることが重要だったため、右と左でまったく違う世界観を作り分ける点に最も苦労しました。その矛盾を形にする工程が、制作で最も難しかった部分です。

あなたにとってヘアカラーとは？

私たちにとってヘアカラーとは、ダメージを抑えながら色を楽しめたり、気分に合わせて気軽に換えられたり、AIのように時代が進化していても、色の力は人の心を動かし続けるはず。ケアとカラーが一体化した新しい形が増えていくことで、より多くの人々がもっと自由に、もっと自分らしく髪色を楽しめる未来が来ると信じています。だからこそ私たちは、技術としてのカラーだけではなく、その人の想いに寄り添うカラーができる美容師になりたいです！



使用色



マンダリンオレンジ



ロイヤルブルー



hoyu コンテスト デッサン画

クラス 15

名前 松井愛夢、吉田詩麻

使用薬剤 (ソマルカラボ)

	g		g
	g		g

対比	1	:	10	:
薬剤	ロイヤルブルー+		クリア	+
g数	10 g	+	500 g	+

(デザイン)
ロイヤルブルー-原液

対比	1	:	50	:
薬剤	マダリニホニシ+		クリア	+
g数	10 g	+	500 g	+

(デザイン)
マダリニホニシ-原液

テーマ

現代

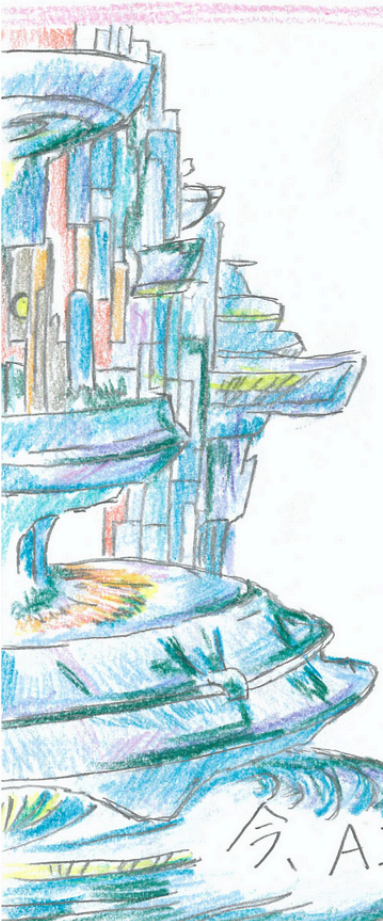
左側は、直線的なカット
アルミオイルを使って、
サイボーグや機械的な印象



右側は、ボリュームとカーブを
出し、“人間”そのものの表情”
を残して、未来に進むなかで
人間らしさを失わぬことの
大切さを表現

ヘアスタイル・カラー・メイクまで決める

今、AIの力が伸びている中で、人間らしさを失わぬ...

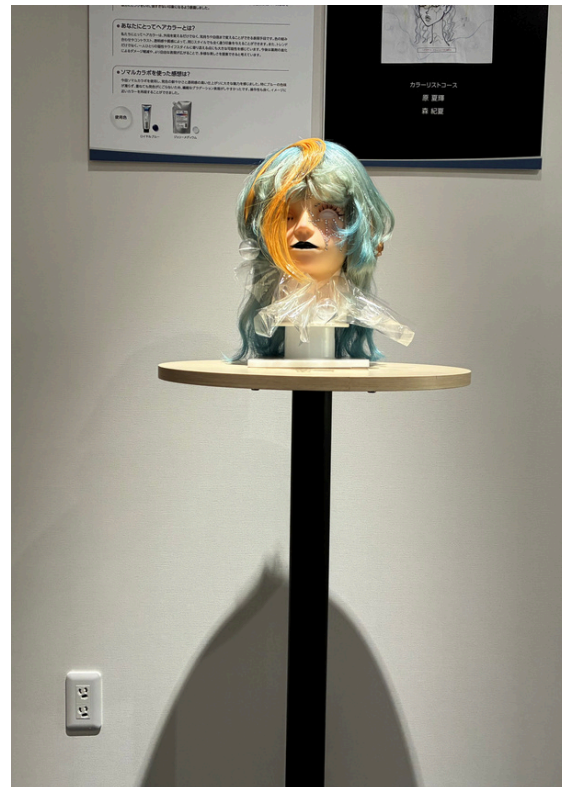


『クラゲ×夜空』

2年生部門
4位



作者
原 夏輝
森 紀夏



製作意図

今回の作品は、コンテストの開催時期が夏だったため、季節感のある青を中心に取り入れたいと考え、真逆の存在である“海”と“空”を組み合わせでデザインしました。クラゲのもつ透明感や柔らかさ、そして夜空の静けさや深さをヘアで表現し、幻想的で浮遊感のある世界観を目指しました。色の重なりで光が抜けるような軽さを大切にしつつ、繊細なブルーのグラデーションと温かみのある色をアクセントに加えることで、奥行きと立体感を意識しました。水中で揺れるような毛流れや、光を反射する装飾を使い、見る角度によって印象が変わるように工夫しました。夏の澄んだ空気と海の神秘性を融合させ、唯一の景色を感じていただける作品を目指しました。

苦労した点

カラーをする際、グラデーションに境目がでないようにすることに苦労しました。また、メイクも全体が青ベースなので部分にピンクをいれ、強すぎない印象になるよう意識しました。

あなたにとってヘアカラーとは？

私たちにとってヘアカラーは、外見を変えるだけでなく、気持ちや自信まで変えることができる表現手段です。色の組み合わせやコントラスト、透明感や質感によって、同じスタイルでも全く違う印象を与えることができます。また、トレンドだけでなく、一人ひとりの個性やライフスタイルに寄り添える点にも大きな可能性を感じています。今後は薬剤の進化によるダメージ軽減や、より自由な表現が広がることで、多様な美しさを提案できると考えています。



ロイヤルブルー



ジェリーメディウム

hoyu コンテスト デッサン画

クラス 14

名前

木原 紀夏
原 夏輝

使用薬剤 (ソマルカラボ)

ダイヤル7"16-	g		g
7"16"フィルム	g		g

対比	1	:	20	:	
薬剤	ダイヤル7"16-	+	7"16"フィルム	+	
g数	g	+	g	+	g

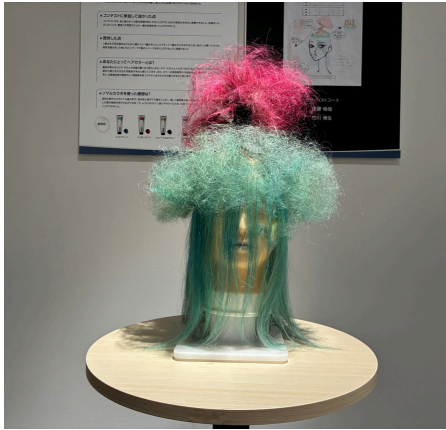
対比	1	:	110	:	
薬剤	ダイヤル7"16-	+	7"16"フィルム	+	
g数	g	+	g	+	g



ヘアスタイル・カラー・メイクまで決める

『ただ、咲いていた』

2年生部門
5位



作者
佐藤 侑哉
竹川 脩生

製作意図

『ただ、咲いていた』というタイトルには、特別な意味を押しつけず、ただ「在る」ことそのものの美しさを含めています。花は、誰かに見てほしいから咲くのではなく、ただそこにあり、季節が来たから咲き、やがて静かに散っていきます。この作品では、そんな“意味のなさの中にある意味”を描きたいと思いました。私たちはよく「なぜそれをするのか」「それは価値があるのか」と問われますが、好きなものに心が惹かれるとき、理由なんていないと思うのです。誰にも見られなくても咲く花のように、生きていることそのものが尊く、美しいそんな想いをこのタイトルに込めました。

苦労した点

1番は木の存在感を出すために細かく三つ編みをしたことです。三つ編みから木を作るために他の人が帰ってから制作を続けました。他にもピンパーマで島のイメージを作り上げられるように頑張りました。

あなたにとってヘアカラーとは？

髪色が変わることで、その人の印象は驚くほど変化します。カラーには人と人とのつながりを広げる力や、その人の内に秘めた魅力を引き出す可能性があると感じています。また、カラーは美容師同士の技術差が明確に表れる分野でもあり、お客様自身が納得のいく美容師を見つけやすい点でも大きな魅力があると思います。



ミントグリーン



シュガーピンク



スウィートミルクティー



ロイヤルブルー



ゼリーメディウム

hoyu コンテスト デッサン画

15 クラス

名前 さとたけ

使用薬剤 (ソマルカラボ)

シアン	g	シュガー ピンク	g	マニキュア
スウェートミルクティー	g	ミントグリーン	g	黒

対比	:	:
薬剤	+	+
g数	g +	g + g

対比	:	:
薬剤	+	+
g数	g +	g + g



ヘアスタイル・カラー・メイクまで決める

『揺れと彩りが重なる ニュアンスデザイン』

前後期展示作品

1年生クリエイティブ部門

1位



作者
片方 優希



製作意図

カットラインは毛先にセニングを入れ、動きが出やすい軽さを意識して仕上げました。前髪にはあえてセニングを入れず、まとまりと存在感を残すことで、全体のバランスにメリハリをつけています。カラーは中間から毛先にかけてイエローベースを入れ、光に揺れるような立体感と動きを表現しました。さらに首周りに紫のレースを取り入れることで、ヘアの軽さに対して深みとアクセントをプラス。色味のコントラストと質感の違いを活かしながら、柔らかさと個性が共存するスタイルを目指しました。

苦労した点

ウィッグを1からデザインするのは大変でしたが、完成した瞬間に達成感が一気に込み上げました。自分の手で世界観を形にできる喜びを強く感じました。

あなたにとってヘアカラーとは？

私にとってヘアカラーは、“気持ちまで変えてくれる表現”です。色が変わるだけで、その人の雰囲気や自信、気分まで大きく変わるところに魅力を感じています。技術だけじゃなく、相手の気持ちに寄り添う力も必要で、学ばば学ぶほど奥深い世界だと思います。まだまだ未熟だけど、誰かの背中をそっと押せるようなカラーを作る美容師になりたいと感じさせてくれる存在です。



マンダリンオレンジ



シュガーピンク



ネオンライム



プリリアントイエロー



ジェリーメディウム

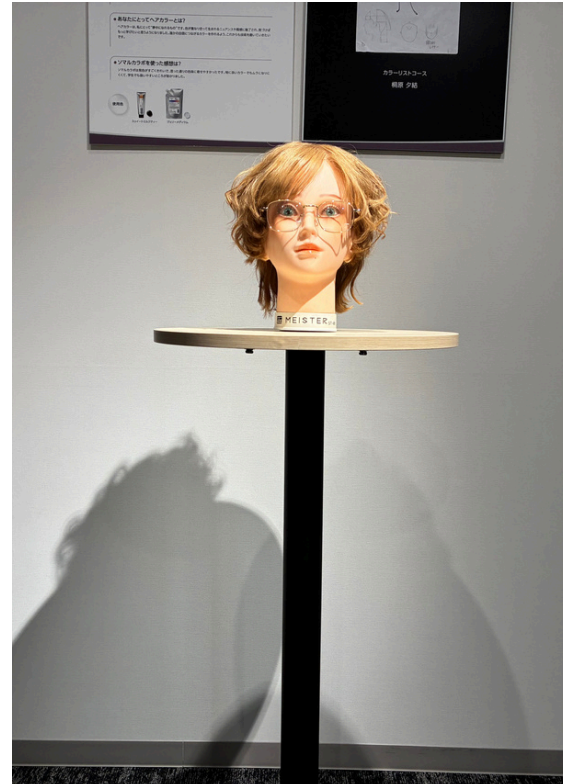
『海の幻想と柔らかな甘さ』

1年生サロンワーク部門

1位



作者
桐原 夕結



製作意図

クラゲのように柔らかく漂う質感をイメージし、オーバーとミドルにパーマ風の動きを加えることで、軽やかに幻想的な雰囲気表現しました。顔周りにはレイヤーを入れることで、揺れる毛束が表情を引き立て、甘さと知的さを両立させています。髪色にはスウィートミルクティーを差し込み、透明感と優しさを演出。眉は髪色よりも明るめに設定し、抜け感を強調しました。チークにはブラウンを用いて落ち着きを添え、全体のバランスを整えています。さらにゴールドの眼鏡をアクセントとして加えることで、知的でありながら可憐な印象を完成させました。

苦労した点

初めてのウィッグ制作で、カラーやカットのバランスを整えるのに苦労しました。試行錯誤を重ねる中で、表現力や技術を磨けたことが大きな学びになりました。

あなたにとってヘアカラーとは？

ヘアカラーは、私にとって“夢中になれるもの”です。色が重なり合って生まれるニュアンスや質感に魅了され、気づけばもっと学びたいと思うようになりました。誰かの自信につながるカラーを作れるよう、これからも技術を磨いていきたいです。



スウィートミルクティー ジェリーメディウム

『キャンディ・パープル』

1年生サロンワーク部門

2位



作者
天野 絵梨



製作意図

アネモネパープルをメインに据え、シアンをミックスやポイントで差し込むことで、幻想的で奥行きのある色彩を表現しました。クリアで薄めながら濃度をコントロールし、透明感と軽やかさを両立させています。メイクでは紫とピンクを中心にふわふわとした柔らかさを演出し、白のラインでリボンを描くことで可憐さをプラスしました。さらにパールを取り入れることで全体に艶やかな輝きを与え、華やかさと上品さを融合させています。カットはワンレングスでまとめ、シンプルなラインの中に色彩と質感の豊かさを際立たせました。知的さと幻想的な美しさを併せ持つスタイルを目指した作品です。

苦労した点

ブリーチやカラーの発色を思い通りに出すのが難しく、何度も調整しました。完成まで粘り強く取り組んだことで、基礎技術の大切さを改めて実感しました。

あなたにとってヘアカラーとは？

私にとってヘアカラーは、自分の感性を試せる大切なフィールドです。色の選び方ひとつで印象が大きく変わるため、毎回新しい発見があります。学べば学ぶほど奥深く、もっと表現の幅を広げたいと思わせてくれる存在です。



アネモネパープル



シアン

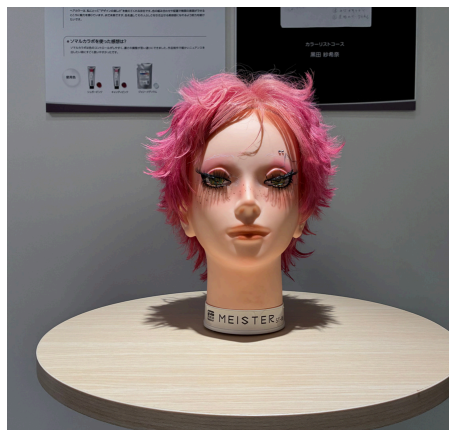


ジェリーメディウム

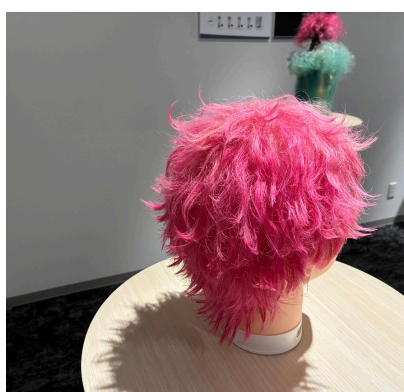
『遊び心とスタイリッシュの融合』

1年生サロンワーク部門

3位



作者
黒田 紗希奈



製作意図

ブリーチを二度重ねることで鮮やかさと透明感を引き出し、濃淡の異なるピンクをダブルカラーで表現しました。セニングを多めに入れたショートカットは軽やかさと動きを生み、スタイル全体に抜け感を与えています。メイクではピンクとオレンジを組み合わせ、柔らかさと華やかさを両立。さらにそばかすを加えることでナチュラルな可愛らしさを演出しました。一方で、ショートヘアのシャープなラインやカラーの鮮烈さがカッコよさを際立たせ、可愛さと強さという二面性を同時に表現しています。甘さとクールさが共存するスタイルを目指し、見る人に新鮮な印象を残す作品に仕上げました。

苦労した点

ウィッグをゼロから仕上げる過程で、時間配分や工程管理に苦労しました。限られた時間の中で工夫を重ね、完成度を高められたことが成長につながりました。

あなたにとってヘアカラーとは？

ヘアカラーは、私にとって“デザインの楽しさ”を教えてくれる存在です。色の組み合わせや配置で無限の表現ができるところに魅力を感じています。まだ未熟ですが、色を通してその人らしさを引き出せる美容師になれるよう努力を続けたいです。



シュガーピンク



キャンディーピンク



ジェリーメディウム

『夢色のウルフ』

1年生サロンワーク部門

4位



作者
石井 紗葉



製作意図

ピンクとシアンを薄めて調合し、柔らかく可愛らしいヘアカラーを表現しました。ブリーチを三度重ねることで透明感のある淡い色味が出やすくなり、髪全体に軽やかな印象を与えています。カットはウルフカットを採用し、動きのあるシルエットで可憐さと個性を両立。メイクではピンクと水色を組み合わせ、髪色との調和を意識しながらふんわりとした雰囲気 연출しました。さらにレースとリボンを装飾に取り入れることで、甘さと華やかさをプラス。全体を通して透明感と可愛らしさを際立たせ、見る人に夢のような印象を残すスタイルを目指しました。

苦労した点

カットとカラーを同時に考えるのが難しく、全体のバランスを取るのに苦戦しました。仲間と意見を交わしながら改善できたことが大きな経験になりました。

あなたにとってヘアカラーとは？

私にとってヘアカラーは、気持ちを前向きにしてくれるパワーを持ったものです。色が変わるだけで表情や雰囲気まで変わるのを見て、カラーの力を強く感じます。お客様の“なりたい自分”を叶えられるよう、技術も感性も磨いていきたいです。



シュガーピンク



シアン



ジェリーメEDIUM

『本能美』

1年生サロンワーク部門

5位



作者
丹羽 我空



製作意図

黄色・水色・黒を組み合わせたデザインカラーで、視線を奪う大胆なコントラストを表現しました。特に黄色をベースに据えることで、全体の印象に強さと鮮烈さを持たせています。カットはショートウルフを採用し、全体にシャギーレイヤーを入れることで動きと軽さをプラス。メイクは黄色寄りのブラウンとオレンジを使い、髪色との調和を意識しながらも、派手なヘアに対してあえて薄めに仕上げ、全体のバランスを整えました。さらに野性的な雰囲気を引き出すため、束感を補足しながら質感と表情に深みを加えています。強さと個性が際立つ、エネルギッシュなスタイルを目指しました。

苦労した点

初めてのコンテスト制作で、イメージ通りに仕上げる難しさを痛感しました。試行錯誤を繰り返す中で、挑戦する楽しさと学びを得られたことが収穫です。

あなたにとってヘアカラーとは？

ヘアカラーは、私にとって“挑戦そのもの”です。思い通りにいかないことも多いけれど、試行錯誤するほど色の魅力が深まっていきます。自分の成長を実感できる瞬間が多く、もっと知りたい、もっと上手くなりたいと思わせてくれる存在です。



プリリアントイエロー

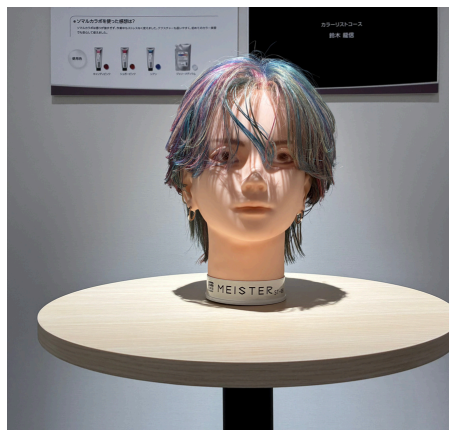
シアン

ジェリーメディウム

『キャンディーカラーのときめき』

1年生サロンワーク部門

6位



作者
鈴木 龍信



製作意図

シュガーピンクとキャンディーピンクをミックスし、甘さの中に透明感を感じるメインカラーを作りました。そこにシアン色のメッシュを差し込むことで、可愛らしさの中に少し遊び心とアクセントを加えています。カットはラウンドマッシュを採用し、丸みのあるシルエットで柔らかさを表現。前髪は重くなりすぎないナチュラルなシースルーにすることで、抜け感と軽やかさをプラスしました。メイクはナチュラルをベースにしつつ、ほんのりピンクを加えて髪色との統一感を演出。全体として、甘さ・透明感・軽さがバランスよく共存するスタイルを目指し、見た瞬間に心がときめくような可愛らしさを表現しました。

苦労した点

ウィッグ制作では、色の濃淡や束感を表現するのが特に難しかったです。細部までこだわることで、技術力と集中力を養えたと感じています。

あなたにとってヘアカラーとは？

私にとってヘアカラーは、コミュニケーションのきっかけになる大切なツールです。色を通してその人の気持ちや理想を知り、一緒に形にしていく過程にやりがいを感じます。技術を磨きながら、カラーで人を笑顔にできる美容師を目指しています。



シュガーピンク

キャンディーピンク

シアン

ジェリーメディウム

『ネオンが揺れるレイヤーグラデ』

1年生サロンワーク部門

7位



作者
杉山 桃渚



製作意図

二回のブリーチに加え、ベースを整えるためのブリーチをさらに一度行い、発色の土台を丁寧に作りました。そこにアネモネパープルを全体へ入れることで、深みと透明感を併せ持つカラーを表現しています。トップにはネオンライムを差し込み、束感を際立たせることで動きと個性をプラスしました。カットはレイヤーを中心に構成し、前髪は上が軽く見えるように調整することで、柔らかさと立体感を両立。メイクは薄いピンク系でまとめ、髪色の強さを引き立てながらも全体にメリハリを与えています。カラー・カット・メイクが調和し、鮮やかさと軽さが共存するスタイルを目指しました。

苦労した点

全員が同じ条件で挑戦する中、自分らしさをどう出すかに苦労しました。試行錯誤を重ねて完成させたことで、表現の幅が広がったと思います。

あなたにとってヘアカラーとは？

ヘアカラーは、私にとって“可能性を広げてくれる魔法”のような存在です。色の組み合わせや濃淡で雰囲気が大きく変わる奥深さに惹かれています。モデルさんの魅力をどう引き出すか考える時間がとても楽しく、もっと上手になりたいという気持ちを強くしてくれます。



ブリリアントイエロー

ネオンライム

アネモネパープル

ジェリーメディウム

『素肌感とカラーが奏でる ニュアンス美』

前期展示作品

1年生サロンワーク部門

8位



作者
早川 凜世歩



製作意図

ミルクティとオレンジのブロックカラーを組み合わせ、柔らかさと温かみが共存するヘアデザインを目指しました。ミルクティのまろやかさに、オレンジの鮮やかさを重ねることで、視線を引き寄せるコントラストを表現しています。カットは重めのぱつん前髪で印象に強さを持たせつつ、顔周りにはレイヤーを入れて動きと軽さをプラス。メイクはオレンジブラウンを中心に、そばかすメイクを取り入れることで素肌感と可愛らしさを演出しました。ヘアの存在感を引き立てながらも、全体としてナチュラルで温かみのある雰囲気仕上げています。カラー・カット・メイクが調和し、柔らかさと個性が自然に溶け合うスタイルを表現しました。

苦労した点

ウィッグを1から作る過程で、思い通りにいかない場面が多くありました。それでも最後までやり抜いたことで、挑戦する力と自信を得られました。

あなたにとってヘアカラーとは？

私にとってヘアカラーは、自分の“好き”や“個性”を形にできる最高の表現手段です。色が変わるだけで気持ちまで前向きになったり、新しい自分に出会えたりするところに魅力を感じています。技術はまだですが、誰かの背中をそっと押せるようなカラーを作れる美容師になりたいです。



スウィートミルクティー



マンダリンオレンジ



ジェリーメディウム

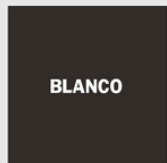
審査コメント

色調の選び方や質感の表現に、学生ならではの新鮮な感性が光っていました。普段のコンテストでは見られないような作品が勢ぞろいしていたので、挑戦することの大切さと学び続ける姿勢に心を打たれました。これからも自己表現することを忘れずに取り組んでいてほしいです。

1つ1つの作品に皆さんの努力と情熱が込められているのを感じました。ウィッグ実習の際に、技術確認に来る生徒さんが多く、作品を素直に楽しんで作っているんだと感じました。今後の成長を楽しみにしています。

学生の皆さんの作品には、美容に対する真摯な姿勢と未来を切り開いていこうとする強い意思が感じ取られました。技術面の精度や表現力の豊かさはもちろん、挑戦する姿勢そのものが大きな価値を持っています。私たち美容業界の現場にとっても、皆さんの新鮮な感性は大きな刺激となりました。これからも自分らしい表現を大切に、未来の美容業界を担う存在へと成長されることを心より期待しています。

審査員



綾華さん

BLANCO名古屋
名古屋市中区栄3丁目13-20
栄センタービルB1



ORIGIN'S
GROUP



THE ORIGIN'S SALON
名古屋市南区駈上1-10-26



浅見さん



太郎さん



兼子さん



三好さん

LaHzA
名古屋市瑞穂区
中山町1丁目20



sasaさん

BUDDY HAIR
名古屋市中区大須4丁目2-58
大和ビル4階



hoya
hair color museum

ホ-ユ-ヘアカラ-ミュージアム